

2023年7月28日
株式会社ネットスターズ
株式会社横浜赤レンガ

横浜赤レンガ倉庫が「StarPay」を通じて、海外 QR コード決済を追加導入

インバウンド対応強化。2023年7月22日（土）より海外5ブランドを追加し、計13ブランドが利用可能に

株式会社ネットスターズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：李 剛、以下「ネットスターズ」）は、2023年7月22日（土）より、株式会社横浜赤レンガ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：五十嵐 光晴、以下「横浜赤レンガ」）が運営する商業施設「横浜赤レンガ倉庫」に、マルチキャッシュレス決済ソリューション「StarPay」経由で海外のQRコード決済サービス計5ブランドを追加で導入します。



写真：横浜赤レンガ倉庫外観およびイベント広場

「横浜赤レンガ倉庫」は、明治末期から大正初期に国の模範倉庫として建設されたもので、当時の面影を残したまま、2002年に文化・商業施設として生まれ変わりました。館内は約65店舗の物販店やカフェ・レストランが充実し、屋外のイベント広場では四季折々の多彩なイベントも開催しています。横浜を代表する人気観光スポットで、国内外から多くの観光客が訪れています。

「横浜赤レンガ倉庫」は2019年よりお客様へのサービス向上と、キャッシュレス化による店舗業務の負担軽減のために、「StarPay」を導入しました。インバウンド復活により、さまざまな国から増加する訪日観光客への利便性向上、販売促進を目的に、この度、「StarPay」を通じて、海外のQRコード決済サービスを追加導入することを決めました。

今回の追加導入により、海外からお客様が店頭での会計時に利用できるQRコード決済ブランドは、UnionPay（中国）、GLN（韓国）、JKOPAY（台湾）、PromptPay（タイ）とMB Bank（ベトナム）の5ブランドです。

なお、導入済みの国内外のQRコード決済、計8ブランド（PayPay・d払い[®]・au PAY・LINE Pay・楽天ペイ・はまペイの6ブランド、海外サービスのWeChatPay・Alipay+の2ブランド）と合わせ、合計13ブランドが「横浜赤レンガ倉庫」で利用可能になります。

「StarPay」は、導入後でも国内外の決済ブランドの追加が簡単に行えます。また、「StarPay」で利用可能な決済ブランド数や国・エリアは今後もさらに増えていく予定です。

ネットスターズは今後もマルチキャッシュレス決済ソリューション「StarPay」をはじめとしたフィンテックサービスおよび DX サービスの提供に取り組んでまいります。

※「d 払い」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

※QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

■「StarPay」について

StarPay は、QR コード・クレジットカード・電子マネーとポイントに対応できる、各種キャッシュレス決済サービスを一括で申込・管理できるマルチキャッシュレス決済ソリューションです。

StarPay は QR コード決済におけるインバウンド対応を強化しており、国内の決済サービスに加え現在 10 か国/地域のサービスに対応しています。

お問合せはこちら：<https://starpay.netstars.co.jp/>

■株式会社ネットスターズについて

2009 年の創業以来ゲートウェイ事業を展開。2015 年に QR コード決済サービス「WeChatPay」を代理店として日本に初めて導入。以降、国内外の QR コード決済をはじめとするキャッシュレス決済を店舗に一度に導入・管理できるマルチキャッシュレス決済ソリューション「StarPay」を展開。現在は「StarPay」の技術力を基盤に、多角的なサービス展開に取り組んでいます。

公式 HP: <https://www.netstars.co.jp/>

■横浜赤レンガ倉庫について

所在地：神奈川県横浜市中区新港一丁目 1

営業時間：1 号館 10：00～19：00、2 号館 11：00～20：00

※カフェ・レストランは店舗により異なる ※1 号館ホール・スペースは催事により異なる

アクセス：みなとみらい線「馬車道駅」または「日本大通り駅」より徒歩約 6 分

JR・市営地下鉄「桜木町駅」より自動車道経由で徒歩約 15 分、「関内駅」より徒歩 15 分

公式 HP：<https://www.yokohama-akarenga.jp/>